

単元名 あきとあそぼう

【単元の目標】

秋の自然を見付けたり遊んだりする活動を通して、秋と他の季節との違いや特徴を見付けたり、遊びや遊びに使う道具を工夫してつくりたりして、秋の自然の様子や季節の移り変わり、秋の特徴を利用した遊びの面白さに気付くとともに、季節の変化を取り入れ自分たちの生活を楽しくしたり、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとしたりすることができるようにする。

単元の評価規準【知識・技能】

秋の自然を見付けたり遊んだりする活動を通して、秋の自然の様子や季節の移り変わり、秋の特徴を利用した遊びの面白さに気付いている。

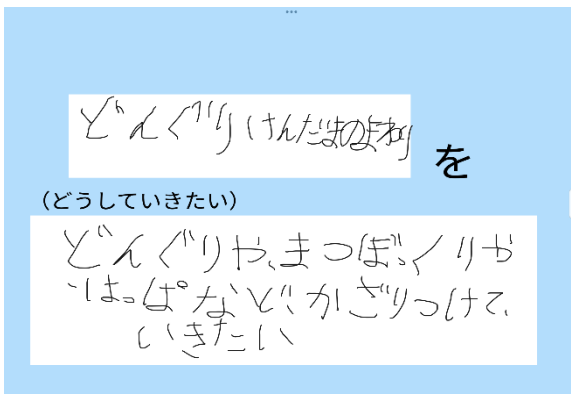
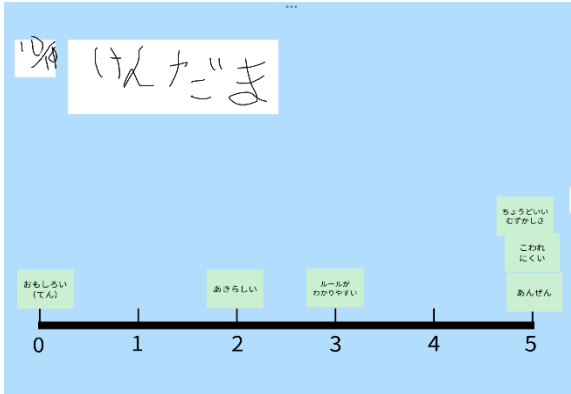
小単元 1

校庭の秋の自然の様子や特徴、季節の移り変わりに気付いている。

小単元 2・3

校庭の秋の自然はいろいろな遊びに利用できることや、遊びを工夫したり遊びを創り出したこと面白さに気付いている。

【子どもの振り返り】写真またはテキスト



【要因】 ※教師の手立て(指導の立場からの分析)

①目的と相手意識

・最終的に幼稚園児を招待して秋祭りを開くことを設定した。目的と相手意識がはっきりしていることで、遊びに使う道具を工夫していく方向性が明確になり、自分の遊び道具を工夫していく視点や工夫していく面白さに気付くことができたと考える。

②秋と関わる十分な時間の確保

・秋の自然を感じることでできるように、「秋見つけポシェット」を持って校庭や体育館周りに出かけたり、幼稚園児との交流会の際に園庭に出かけ、秋の自然が目に入るようにした。また秋遊びの道具をつかった際には、自分の道具や友だちの道具で遊ぶ時間を十分に確保した。自分が見つけてつくったものなので、遊びを工夫することにつながったと考える。

③次の体験へとつながる振り返りの時間の十分な確保(思考ツール)

・活動後の振り返りの際、思考ツールを使い、客観的に自分の道具を見つめ、次の活動への視点に気付くことができたようにした。目的と相手意識に沿って振り返りの視点を焦点化したことで、遊び(道具・ルール)を工夫していくことの面白さの気付きにつながったと考える。



言えそうなこと

内容(6)についての有効な手立て

◇目的と相手意識

◇対象と十分に関わる体験活動の時間の確保

◇次の体験へとつながる振り返りの時間の十分な確保(思考ツールの活用)

単元名 ゴムの力で動くおもちゃを作って、ゴムリンピックを開こう

【単元の目標】 ゴムを使って動くおもちゃを作って遊ぶ活動を通して、遊びに使うものを工夫してつくることができ、その動きの面白さや不思議さに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとする。

単元の評価規準【知識・技能】	小単元1	小単元2
ゴムを使って動くおもちゃを作って遊ぶ活動を通して、その動きの面白さや不思議さに気付く。	ゴムはいろいろな遊びに利用できることに気付いている。	②ゴムを使って、いろいろな動くおもちゃを作ることができることに気付いている。 ③遊びの楽しさや遊びを工夫したり遊びを創り出したりする面白さに気付いている。 ④ゴムの面白さや不思議さに気付いている。

【子どもの振り返り】写真またはテキスト

④わたしがは、はなしたことは、太いわゴムと細いわゴムの違いを試してみただけで太いわゴムは、長く高くとびそうなんだけど、細いわゴムでやってみると…長くとはなかったから、太いわゴムのほうがゴムの力がつよくな。だから太くすればするほどいい。はいわゴムの力加えて長くとびそうだけどあんまりつけすぎるとおもちゃがこわれちゃうから、あんまりつけすぎないこともは、見ました。

【要因】 ※教師の手立て（指導の立場からの分析）

- ①「楽しい」の考えの共有
  - ・ゴムのおもちゃの「楽しさ」について、教師モデルをもとに話し合ったり、4種類のおもちゃそれぞれについて、動きを想像したり遊び方を考えたりして、考えを共有してきた。「楽しい」の考えを全体で共有することで、単元最後のゴムリンピックに向けて、作りたいおもちゃの動き方や遊び方を具体的に思い描くことができていた。
- ②おもちゃを作ったり動きを試したりするなどの経験の積み重ね
  - ・自分のゴムのおもちゃを作ったあと、何度もおもちゃの動きを試したり友達のおもちゃの動きと比べたりした。初めは自分のおもちゃの動きにのみ目が向いていたが、経験を積むことで、同じおもちゃの動きを自分のおもちゃの動きと比べて理想とするおもちゃの動きを思い描くことができていた。また、友達と比べることで、より理想のおもちゃに近づけるために、おもちゃを改造したいという意欲を持たせることにつながった。何度もおもちゃで遊んだり作ったりする経験を積み重ねたことで、ゴムの太さや細さに着目する児童が増えていった。
- ③ICTによる考えの共有
  - ・おもちゃの改良方法について、板書の一部を撮影し、試したい改良方法を選択して全体共有するようになった。改良方法の選択に迷う児童には黄色、決まっている児童には赤色で記入させることで、簡単に児童の意見を集約できた。また、決め手となった理由について発表させることで、改良方法を選ばせることにつながった。

①

②

③

言えそうなこと

- 内容(6) についての有効な手立て
- ◇「楽しい」の考えの共有
  - ◇おもちゃを作ったり動きを試したりするなどの経験の積み重ね
  - ◇ICT（ロイロノート）による考えの共有



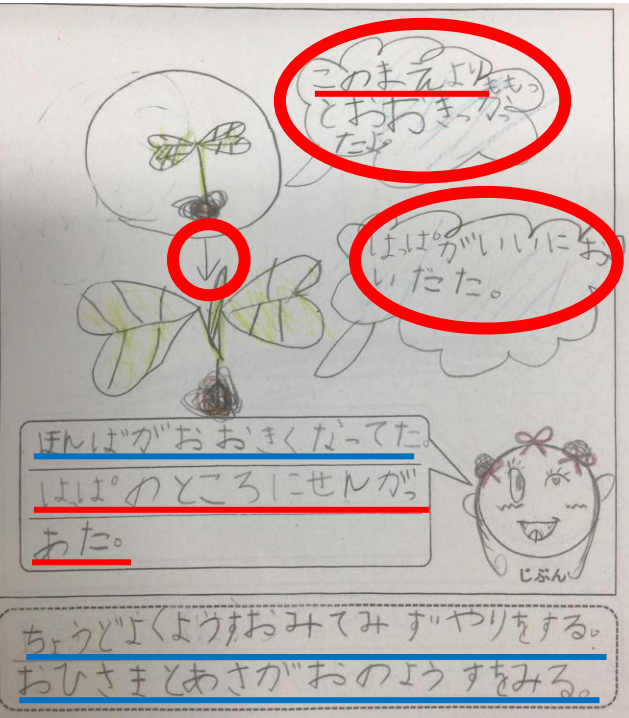
単元名 アサガオとなかよし～おおきなあれアサガオさん～

【単元の目標】

アサガオを育てる活動を通して、アサガオの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、アサガオに合った世話の仕方があることや生命をもっていることや成長していることに気付き、アサガオへの親しみをもち、生き物を大切にすることができるようにする。

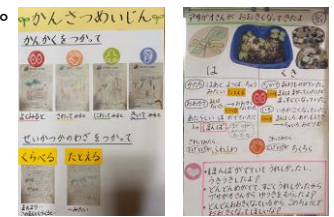
単元の評価規準【知識・技能】	小単元1	小単元2	小単元3
アサガオを育てる活動を通して、アサガオに合った仕方があることや生命をもっていることや成長していることに気付いている。	①アサガオの特徴や育つ場所、変化や成長の様子に気付いている。	①アサガオの特徴や育つ場所、変化や成長の様子に気付いている。 ②アサガオも自分たちと同じように生命をもっていること、アサガオに合った世話の仕方があることに気付いている。 ③アサガオを適切な仕方では世話をしている。	④アサガオへの親しみが増し、上手に世話ができるようになったことに気付いている。

【子どもの振り返り】写真またはテキスト



【要因】 ※教師の手立て（指導の立場からの分析）

- ①観察時に手がかりとなる手段・生活科の技の共有や板書や掲示物による視覚化
  - ・観察時に手がかりとなる手段（目・手・鼻・耳）や生活科の技（見付ける・比べる・たえる・試す・見通す・工夫する）を全体で共有をしたり、気付きを出し合う際にそれらの視点で板書や掲示物に位置付けたりした。観察時に手がかりとなることを児童が意識することができ、変化や成長への気付きにつながったと考える。
- ②定期的・継続的な観察やお世話の時間の設定
  - ・毎週月曜日に「いのちのおせわ」として、観察の時間を設定した。種を植えた後から、定期的に設定したことで、児童がアサガオの変化や成長に気付くきっかけとなり、また継続的に設定していったことで、成長を継続的に見ていくことができ、アサガオが生命をもっていることへの気付きへとつながったと考える。
- ③ICT（ロイロノート）による観察記録の蓄積と観察時における前時記録の活用
  - ・ロイロノートに観察記録の蓄積を行っていった。観察時には、前時の記録（iPad）を横に置き、目の前のアサガオの様子と比べながら、観察カードへの記入を行った。自分自身の記憶だけと比べるのではなく、実際の写真と比べながら観察したことで、より細かいところまでの変化や成長への気付きへとつながったと考える。



言えそうなこと

内容(7) についての有効な手立て

- ◇観察時に手がかりとなること（手段や生活科の技）の全体共有や板書や掲示物による視覚化
- ◇定期的・継続的な観察やお世話の時間の十分な確保
- ◇ICTを活用した観察記録の蓄積と観察時における蓄積の活用

単元名 生きているってすごい

【単元の目標】

カイコを飼う活動を通して、カイコの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物への親しみをもち、大切にすることができるようにする。

単元の評価規準【知識・技能】	小単元1	小単元2	小単元3
カイコを飼う活動を通して、カイコは生命をもっていることや成長していることに気付いている。		①生き物にあつた世話をすることのできる自分の成長に気付いている。	②世話をしている生き物の特徴、変化、生長の様子から生命をもっていることに気付いている。

【子どもの振り返り】写真またはテキスト



・ 大きさは、まえよりも1cm3mmくらいおおきくなった。・ カイコの色は、こい白色のカイコとうすい白色のカイコがいた。・ いちばんさいしょよりも、今のふんの方が大きく、たくさんあつたからほんとうにせいちょうしたんだなと思った。・ さわり心地は、前とかかわらずゼリーのようにとってもプニプニしていた。・ 今の大きさは、5cm2mmくらいのカイコと4cm3mmくらいのカイコがいた。・ さいしょは、えさをすこしかたべなかつたけど、今はたくさんのカイコがたくさんのえさをもりもりたべていたからせいちょうがはやいなあと思いました。

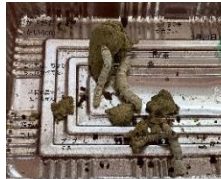
【要因】 ※教師の手立て（指導の立場からの分析）

- ① **グループでの継続したお世話**
  - ・各グループで互いに声掛けしながらお世話をしてきた。えさやりやふんの掃除を協力して行い、その際に友達と見つけたカイコの特長を交流していた。グループで継続してお世話をするからこそ、生長に伴うえさの量やふんの大きさの変化、体の大きさととの関係などの気付きにつながつたと考える。
- ② **ICT（ロイロノート）による観察記録の蓄積・活用とズーム機能による細かな観察**
  - ・観察記録をロイロノートの写真機能を活用して行った。写真に気付いたことや変化を直接書き込んだり、ロイロノートのシートを活用してカイコ日記を作成したりすることで、カイコの変化を詳しくまとめることができた。また、観察の際にズーム機能を活用して行った。昆虫は小さく細部まで肉眼で観察するのは難しい。ズーム機能を活用すれば、顔の作りや体の模様など細部までの観察が可能となる。子ども達がカイコの特長や変化に気付き観察意欲を高めることにもつながつたと考える。
- ③ **掲示物（学習の流れとカイコの生長の様子など）による視覚化**
  - ・学習の過程とカイコの生長を写真を交えながら掲示物に位置付けていった。学習に対する意欲の持続とともに、カイコの変化に気付くことができたと考えた。

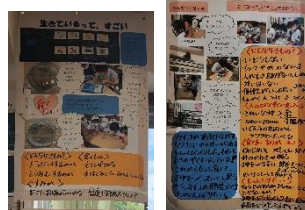
①



②



③



言えそうなこと

内容(7) についての有効な手立て

◇グループでの継続したお世話（協働的な学び）

◇ICT（ロイロノート）による観察記録の蓄積・活用とズーム機能による細かな観察

◇掲示物（学習の流れとカイコの生長の様子など）による視覚化



単元名 もうすぐ2年生 (幼小連携)

【単元の目標】

1年間の学校生活を振り返り、幼稚園児や保護者等自分の身近な人に小学校のことを伝える活動を通して、自分のことや支えてくれた人々について考えたり、自分の身近な人に伝えたいことや伝え方を選んだりして、自己の成長や身近な幼稚園児と関わることの楽しさが分かるとともに、これからの成長への願いをもって意欲的に生活しようしたり、進んで身近な人に関わろうしたりすることができるようにする。

単元の評価規準【知識・技能】

1年間の学校生活を振り返り、幼稚園児や保護者等自分の身近な人に小学校のことを伝える活動を通して、自己の成長や身近な幼稚園児と関わることの楽しさが分かる。

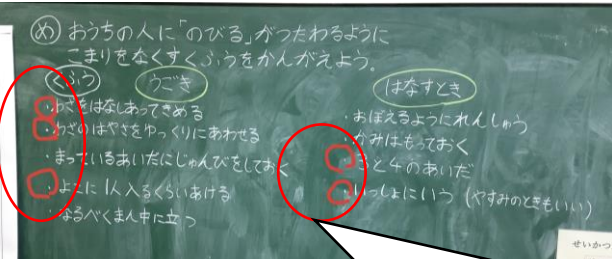
小単元4 (小単元1～3および5～8は略)

- ①自分の成長を支えてくれた人々の存在や自分との関わりに気付いている。(9)
- ②**相手や目的に応じて、様々な伝え方があることに気付いている。**(8)

【子どもの振り返り】写真またはテキスト

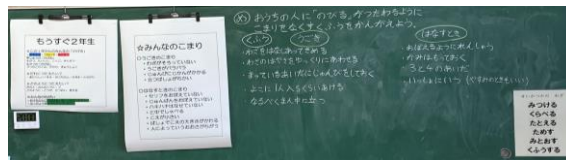
【要因】 ※教師の手立て (指導の立場からの分析)

言えそうなこと



話し合いを基に、新たな伝え方の工夫に気づき、選んでいる。

- ②活動する中で出てくる困りの共有や、話し合いの視点の板書や掲示物による視覚化
  - ・保護者に自分たちの成長を伝える方法について、伝え方を考える中で出てきた各グループの困りを全体で共有したり、困りを解決するために何について工夫をすればよいかを板書や掲示物による視覚化を行った。工夫する点が明確になったことで、工夫の視点で自分たちの活動を振り返り、単に自分が伝えたい方法を選ぶのではなく、家の人に合った伝える方法について気付きの質が深まったと考える。



- ③活動や話し合い時間の十分な確保
  - ・自分たちが選んだ伝え方で、友だちに伝えてみる活動の時間を設定した。相手に伝わる伝え方について考えたり、試しに友だちに伝えてみたりする時間が十分に確保できたことで、伝える際の困りに気づいたり、困りを解決したい、解決のために話し合いたいという思いをもったりすることができたと考え。



- ①ICT (ロイロノート) による活動の記録と話し合い時における前時記録の活用
  - ・ロイロノートに自分たちが伝える様子の記録を行っていった。話し合い時には、前時の記録 (iPad) を見ながら工夫を考えたり、新しい伝え方を試したりした。記録により自分たちの伝え方を客観的に見ることで、より相手に伝わる伝え方の工夫の気付きへとつながったと考える。



内容 (8) (9) についての有効な手立て

- ◇ICTを活用した活動の記録と話し合い時における記録の活用
- ◇観察時に手がかりとなること (手段や生活科の技) の全体共有や板書や掲示物による視覚化
- ◇活動時間と話し合いの時間の十分な確保や区別化

「お家の人がかんがえやすいように、3と4の間の声で話すといいと思いました。」

